



和田 有朗
ゆい ちやうろう

皆様から衆議院に議席をお預かりしてはや二年、活動の場をいただいたことに心より感謝申し上げます。経済的な閉塞感、人口減少、少子化、膨張する中国の前で緊張する国際情勢、「政治とカネ」に端を発する「政治不信」。国民は裏金問題を許していません。これらはいずれも待ったなしの課題です。「古い政治」から「新しい時代に合った政治」に。今期の国会活動で石垣市が行う「尖閣諸島調査」に同行し、台湾の頼清徳総統就任式にも参列しました。日本の未来の繁栄と永続のために今何をなすべきかを真剣に考え、そして少しでも暮らしがよくなるよう、努めてまいりる決意であります。今再び国政に参画させていただきますようお願い申し上げます。

昭和39年神戸生まれ
県立神戸高校→早稲田大学卒
神戸市外国語大学大学院修士課程
(国際経済学専攻)修了
衆議院議員秘書などを経て神戸市会議員2期
兵庫県議会議員5期/衆議院議員1期

●NPO法人・教育再生地方議員100人と市民の会・顧問●米国連邦政府より個人として招待を受け1ヶ月渡米・視察●平成24年8月19日、地方議員の有志の仲間とともに尖閣諸島・魚釣島に上陸し国旗を掲げる。本年、再度尖閣諸島調査に現職代議士として同行

日本はもっと強くなれる!

取り組むべき課題

- 地方分権の促進
- 憲法改正
- 少子化対策
- 現実的な外交・防衛政策の実現
- シンプルで力強い税制・社会保障の実現
- 産業の育成と活性化による経済対策

今期衆議院外務委員会での質疑の一部 衆議院のネット中継、ビデオライブラリを是非ご覧ください。 <https://www.shugintv.go.jp/jp/index.php>

◆ 靖国神社の石柱への落書き等の事案について

和田：靖国神社に対して落書き等がなされた件について、誰から誰に対してどのような手段を使って抗議をしているのか。

答弁：〈上川陽子大臣〉様々な機会を通じて、様々なレベルで、日本政府の厳格な立場については中国側に明確に伝えている。

和田：この件に関しては、直接大使に対して強く抗議すべきと申入れておく。

◆ 台湾有事の際の邦人保護について

和田：中華人民共和国にいる11万人の邦人対応についてどう考えているのか。

答弁：〈上川陽子大臣〉外務省では、平素から、在外邦人の保護や退避が必要となる様々な状況を想定して、緊張感を持って必要な準備、検討を行っている。引き続き在外邦人の安全確保に万全を期してまいりたいと考えている。

弱腰外交に喝
当たり前を貫く!

日本維新の会

特報!!

北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会にて、「国籍にかかわらず帰国を求める」との答弁を得ました!

予算委員会の分科会にて、航空宇宙産業について、民間の衛星やロケット産業の本格的な事業化に向けて質疑し、後に審議会による前向きな答申がなされました!